

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

明日から大型連休が始まりますね。家族で過ごす時間もいつもより多くなると思います。コロナ禍ではありますが、家族で何か思い出作りをしたいものですね。

さて今回は、家族旅行で私が学んだ子どもとの関わり方についてです。それは、東日本大震災より前、長男がまだ幼かった頃の話。

とある休日に、宮城県松島の水族館へ家族ドライブ日帰り旅行を計画しました。子どもたちは、初めての水族館見学、さらにアシカショーもあるので、数日前から自分でおやつ準備をするなど旅行を楽しみにしていました。

当日は絶好の旅行日和。私たちはテンション高めに家を出発しました。

ところが、水族館に到着して記念写真を撮ろうとすると、なぜか長男の顔が仏頂面。そしていきなりの一言。「帰る。」長男は急に不機嫌になりました。

「せっかく水族館にきたから、いろんなお魚さんやペンギンやラッコを見ようよ。楽しみにしてたろう。全部見てから帰ろうな。」と促すと、長男はしぶしぶ館内へ。様々な魚や海の生き物を見れば、テンションが上がり元気になるだろうと期待していたのですが、すたすたとただただ歩く長男。15分ぐらいで出口に。

「全部見たよ。」「帰る。」

私は、「ラッコやクラゲがいたね。もう一度見に行こうか。」とか「ドクターフィッシュのところで手をいれられるようだよ。」とか、興味を引きそうなことをいろいろ言って誘ってみました。長男はすべてに横に首を振るだけ。

せっかく松島まで連れてきたのに……。だんだん腹が立ってきて、長男に対する口調も厳しめに。口調に比例して、長男はだんだんしかめっ面に。

最終的に見かねた妻にいさめられる私。妻は次男を私に託し、長男と二人で別行動をとることにしました。

30分ぐらいたって合流した時は、長男は機嫌を直していました。

どうして長男の機嫌が直ったのか妻に話を聞くと、「私も一緒になって怒っても仕方ないから、『好きにしているよ。』って本人に言ったのよ。」と本人がしたいことをしたいようにさせ、見守っていたそうです。長男は、妻のそばで、持ってきたお菓子を食べながら広場の様子を眺めているうちに、少しずつ元気になっていったとのこと。

「長い車移動でストレスが溜まったのよ。休みたかったんじゃない。私だって疲れたもの。」

私は、妻の話を聞いて、急な子どもの不機嫌には子どもなりの理由が必ずあり、親があれこれ機嫌を取ることも、子ども自身が折り合いをつける時間を作ることのほうが大切だと気づかされました。

その後長男とは仲直りし、私たちは、家族一緒にアシカショーも見て、お土産を買って帰路につきました。

当然帰り道は、こまめに休憩を入れながら…

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★